

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告 (その10) です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2022 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOふうめらん」が主催する「関ジモト大学 online」の場をお借りして、関市内の19企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

◇ 事業所紹介

【第2地域包括センター】

地域包括支援センターは市が設置する機関です。名前が長いので「包括（ほうかつ）」と呼ばれています。高齢者の皆さんが住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるように、日々の困りごと、介護のこと、健康のこと、制度のことなど生活に欠かせないことについて高齢者の皆さんを支えています。

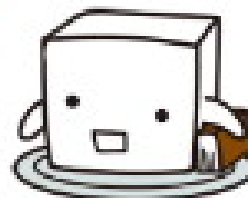


【HP】 <https://www.city.seki.lg.jp/0000006035.html>

【関市保健センター】

関市保健センターでは、

- ・母子健康手帳の交付
- ・各種乳幼児健診・相談
- ・予防接種
- ・関市健診（成人）
- ・関市健康相談・特定保健指導
- ・健康増進に関する教室等を行っています。



【HP】 <https://www.city.seki.lg.jp/0000001099.html>

関連する
SDGsの
目標



◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

少子高齢化が進んでいる社会において、地域医療、地域包括は大事であるということが改めてわかりました。保健師やケアマネージャーだけでなく、看護師、助産師、栄養士、社会福祉協議会、言語聴覚士など、多くの職務が繋がり、協力することで、より厚い支援が実現できているのだと実感しました。このように私たちの知らないところで活躍している人がいるから社会が回っていくのだと思いました。その人たちに感謝すると共に、自分にできることをしていきたいです。そのためにまずは親の支援をしたいです。

私は今、高齢化社会であることは知っていたけれど、実際に3500万人もの人が高齢者と聞くと、改めて多いなと思いました。今日は、福祉・保健師の方の話を聞いたけれど、他にも社会福祉機関など、様々な機関と連携していて成り立っていることを知って、素晴らしいなと思いました。また、その連携のおかげで最善を尽くすことができている、凄いなと思いました。また、人の性格や強みを消さずに生活できたらうれしいと、やりがいを感じていることを知って、人の気持ちを第一にして行動している姿がカッコイイなと思いました。私も人の人生を大切に、今日得た知識を活かしながら、ひだまりやケアマネージャーなどまだまだ知らないことについて調べていき、誰かの役に立てるように頑張りたいです。

今まで助産師と保健師の仕事内容の違いをあまりわかっていなかったけれど、今回保健師の方の話を聞いて、助産師は主に妊娠から出産、子育てにおいてサポートをして、保健師は赤ちゃんからお年寄りまで幅広い年齢層の人達をサポートするということがわかりました。また保健センターでは、保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士、事務職の方々が働いており、病院で看護師として働くよりもゆっくり子育てができるということもわかりました。

話を聞いて、子供から高齢者まで安心して生活できる制度が整っていてすごいと思ったし、その制度は保健師さんやケアマネージャーさんなどが、手厚いサポートをしてくれているから成り立っていることを知った。また関わった人たちから感謝を伝えてもらえる素敵な仕事だなと思った。自分は看護師を目指しているのでも、看護の資格を取った後に保健師や助産師を目指すという将来の選択肢が増えた。地元でも自分が目指す職業で活躍できる場所が多くあると分かったので、関での就職を目指したい。

普段、介護福祉の仕事を目撃する機会があまりないので、とても興味深かった。老人ホームなどの施設だけでなく、助けを必要とする人の家へ直接向かう仕事もあると、初めて知った。きっと一人暮らしの高齢の方はそういうサポートの制度があるので、すごく心強くなると思う。また、関市では子育て世代の方の支援も充実していて、助産師さんや栄養士さんなどに気軽に相談ができるそうだ。地域の声を聞き漏らすことなく、人々の幸せを願って仕事をしている姿がとてもかっこいいと思った。

第2地域包括センターさんでは、保健師の仕事内容、福祉にかかわる仕事について知ることができました。また、保健師の方に質問することで、私の、保健師の仕事場についての疑問を解消することができました。私は将来、人と関わったり、触れ合ったりする職業に就きたいと考えています。不明確でしたが、貴重な話を聞くことができ、自分のやりたいことが明確になった気がするし、今後進路を決定するうえで参考にしていきたいと思いました。

主に小さい子どもやその保護者の支援をされる方々と、主に高齢者の方々の支援をされる方々、その2つの立場からのお話を伺った。お話を聞かせていただく中で、地域の包括ケアシステムの素晴らしさに気付きました。お話の中には、独り身の方や、妊娠中の方などの例が出され、それらの方々が抱えている不安を保健センターなどによって、取り除いていることを知ることができました。一つのそういった施設の中でも、様々な不安や悩みを解決に導けるように、それぞれの資格をもった専門的な方々が集まっていることも知ることができ、新たな知識をつけることができました。

今回、地域医療がテーマの講座に参加し、保健師、ケアマネージャーの方々の話を伺いました。私は、保健師という仕事に以前から少し興味があり、今回の講座でさらに関心を持ちました。聞いている中で、地元で働いていると、家族や地域の方々が助けてくれるという話がありました。また、地域のことをよく知っていることは強みになるとも伺いました。医療は特に地域との関わりが濃いので、それは重要なことなのだと思います。関市の医療について、もっと知りたいと感じるきっかけとなりました。自分の進路にも関わることなので、機会があればまたお話を伺いたいです。

今回は講座を開いていただきありがとうございました。私は今回の講座で、関市が子育てについてどのように取り組んでいるのかを詳しく知れて良かったです。「ひだまり」という子育て世代包括支援センターの存在を知れて、自分の住んでいる地域も調べてみたいと思いました。また、保健センターはたくさんの仕事があって大変だなと思いました。

私は、将来看護や福祉系の仕事に就きたいと思っていて、興味があったのでこの講座を聞こうと思いました。様々な方々が、私たちの健康を見守り、支えてくれているのだと実感しました。若い人たちも気軽に相談できるように、LINEを開設するなど工夫をしている点が、素晴らしいと思いました。また、高齢化の状況に対しても様々な取り組みをされていることがわかりました。私には、認知症気味のひいおばあちゃんがいるので、コミュニケーションをとるときに、言っていることを否定したりせず、話を聞きたいと思いました。

そもそも地域包括支援センターとは何かということすらも分かっていなかったけれど、今回のお話を聞いて様々な疑問を解決することができました。高齢者が直面しやすい問題や家族のサポートの在り方、保健師とはどういう仕事なのかを学ぶことができました。お仕事に関するお話も面白かったのですが、認知症の家族にどう接すればいいのかという質問の答えや保健師になる方法なども興味深かったです。

私達が毎日健康に過ごせているのは、地域包括ケアシステムを使い、サポートしてくださる方々のおかげであることを改めて知りました。自分が住んでいる地域のことは知っているつもりだったけど、講座を受けて、影での働きがあることに感謝すべきだと思いました。これからはこのような存在があることをもっとたくさんの人に知ってもらいたいなと思いました。